

第 5 号

平成11年6月1日

○発行

鳥取市立川町5丁目417番地

鳥取こども学園後援会

電話 (0857)22-4206

○振込口座

郵便振替 01490-9-9106

題字 尾崎梯之助

# 鳥取こども学園 学園だより



## 子どもたちに「安心」と 「自信」と「自由」を

鳥取こども学園長 藤野興一

平成十年度は、戦後五十年振りに改正された児童福祉法施行の年であり、保育所が

措置制度から外され自由契約へ移行した年であります。更に、平成十二年老人介護保険導入に伴い、「社会福祉基礎構造改革・社会福祉事業法改正」が行なわれようとしています。この一連の動きは、「措置から

自由契約へ、企業参入と自由競争原理の導入、公的負担から受益者負担へ、施設ケア

から在宅支援へ」という激流を作り出しています。

しかし、児童養護施設、情短施設、児童自立支援施設などに入所せざるを得ない要保護児童にとって、公的介入、公的負担、施設ケアは不可欠であり、自由契約や受益者負担にはなじまないものであります。

今国会で、社会福祉事業法改正案は上程される見通しですが、児童福祉入所施設に關しては、母子自立生活支援施設(母子寮)を除き、かろうじて措置制度が残されることとなりました。ただし、五年先にはもう一度見直すこととなっており、予断は許されません。

この激流の背景には、国の財政危機があるのは当然ですが、一方では、戦後の社会福祉事業主体の「措置制度にあぐらをかいた「福祉屋」への墮落」があることを忘れてはなりません。最近の岡光事件以降も後を絶たない「不祥事」、管理と強制による旧態依然たる施設運営と施設入所者に対する「体罰」と「人権侵害」の横行など、社会福祉施設の自己変革が求められていると言わねばなりません。鳥取こども学園が、民間キリスト教社会事業の先駆性・献身性

の復活を内外に訴え続けてきた所以です。

鳥取こども学園の「高校全入運動」も「品行方正、成績優秀、他の子どものモデルになるような子どもに限って高校へ行かせてもよい」とする当時の制度に抗して「ハンディを背負った子どももほど、全ての子どもを高校に行かせて十八歳までの養護保障をする」道を選んだものであり、「全国養護施設高校生交流会」を呼びかけ、支え続けてきたのも、施設入所児童の生の声に真摯に耳を傾け、子どもたちと共に施設の自己変革をなさんとしたものに外なりません。

「子どもの人権」と「情報公開」は、二十一世紀の児童福祉施設のキーワードです。「子どもの人権」とは、子どもに「安心」と「自信」と「自由」を保障することです。最近増え続けている親による「児童虐待」は、これらの全てを根底から侵すものです。施設は、不安を解消し「安心」を回復し、自己イメージの悪さを取り除き「自信」を取戻し、自己選択する「自由」な生活を保障する場でない限りなりません。

公的に社会から大切な子どもをあずかる児童福祉施設は、決して密室であってはなりません。公的なお金を使っているからというばかりでなく、「情報公開」は、「子どもの人権」を守る立場からも必要なのです。この「学園だより」がその一端を担えれば幸いです。

一九九八年度  
事業報告及び  
今年度の事業計画

《法人本部》

当法人が運営する四施設とも、皆様のお恵みと皆様のご支援により、一九九八年度の事業を当初の目的どおり遂行することができたことを感謝申し上げます。

新年度を迎え、役員一同、心新たに前進したいと思えます。

今年度、以下のとおり計画目標を立てました。

- ① 二十一世紀、創立百周年に向けて、「第二次五か年計画」の見直しを図る。介護保険導入や社会福祉事業法改正の動きに見られるように、社会福祉事業を取り巻く環境は、激変しつつあり、常に見直しを迫られている。

二十一世紀を目前にし、創立百周年(二〇〇六年)に向けて、抜本的見直しを図りたい。大人と子どもの祈りや心を結集したものとしたい。

- ② 保育所「鳥取みどり園」創立五〇周年(二〇〇〇年)を準備したい。

保育所鳥取みどり園は、二、〇〇〇(平・十二)年に創立五十周年の節目を

迎える。一九五二(昭・二十六)年創立

当時、予防的福祉としての先駆的役割を担って来た保育所も、その役割を大きく変え、少子化対策の中心的役割を担う幅広い子育て支援事業の荷い手として変身しようとしている。伝統に支えられ、地域に根ざした鳥取みどり園の真価が問われることとなる。

具体的には、卒園生名簿を中心とした「鳥取みどり園五十周年記念誌」の編集、記念式典の挙行、グラウンド周辺の緑化事業などを計画している。

- ③ 幹部職員退職(蔵本先生・安本先生)の穴を埋め、世代交代も含めて新しい職員集団の育成を図りたい。

昔から「人は石垣、人は城」と言われてきたが、鳥取こども学園が多あるのも、多くの先輩

たちの筆舌に尽くしがたい労苦があったればこそである。



1998年度各施設の月別利用状況及び1999年5月1日付入所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1999年 5月1日付
養護施設	未年	26	29	28	28	28	28	30	30	30	30	29	30	346	25
	満少年	13	10	10	9	10	11	11	12	11	13	14	14	138	10
情短		実人員：201人													
通所		延べ人員：1,690(年間)													
外来相談															
鳥取フレンド		11	12	11	12	12	12	11	12	12	9	9	7	130	10
保 育 所		140	150	152	153	155	155	159	158	158	157	161	159	1,857	158
子育て支 援センター	延人数	271	345	518	570	380	667	772	489	492	328	533	643	6,008	
	平均	13	17	23	26	29	35	39	29	27	19	33	49	28	

鳥取こども学園 役員紹介

(理事長・評議員)

尾崎 良一(こども行政総合研究センター理事)

(専務理事・評議員)

松田 章義(鳥取こども学園希望館館長)

(常務理事・評議員)

藤野 興一(鳥取こども学園園長)

(理事・評議員)

真島 憲二(洋画家)

福田源次郎(福田内科医院院長)

田丸 敏高(鳥取大学教育学部教授)

大呂 隆則(大一林業役員)

入江 一枝(鳥取みどり園園長)

橋詰 隼人(立川五丁目二区町内会長)

(評 議 員)

赤山 善男(赤山建設設計事務所代表取締役)

石谷 暢男(石谷小児科医院理事長)

黒川 和子(鳥取ヤクルト販売KK会長)

平尾 敏男(鳥取みどり園保護者会会長)

清水 雅彦(清水内科医院院長)

中尾廣太郎(中尾税経総合事務所専務取締役)

縫谷 昌生(トリベイ社長・日栄商事社長)

浅井 慶紀(鳥取市教育委員会事務局嘱託)

涌本 祐之(因伯通運株式会社社長)

中井 政美(鳥取こども学園OB会会長)

(監 事)

郡 孝幸(日本海テレビ社友会長)

西尾美智子(鳥取みどり園前園長)

# 蔵本先生・安本先生ご退職

長い間ありがとうございました。

学園のために長い間ご尽力くださいました蔵本美知子・安本良栄両副園長先生が、一九九九年三月三十一日をもって退職されました。蔵本先生は四十年間、安本先生は二五年間の長きにわたり子どもたちと生活をともに過ごされました。同三月二十一日、両先生の「労をねぎらう会」を風紋荘にて行いました。OB、旧職員、現職員、その他と約八十名の出席でした。県内はもとより、遠くは東京からの参加もあり、盛大なかに思い出話に涙するOBの姿も見えました。養護施設の苦難の時代を乗り越え、今の学園を作り上げてこられた両先生に敬意を表し感謝したいと思います。

新年度を迎え、今更ながら抜けた穴の大きさにあたふたとしておりますが、これも学園の理念と子どもたちに対する取り組みの質を落さないよう職員一同新体制で取り組んでいます。

蔵本先生と安本先生は、現場は離れることになりましたが、今後は鳥取ことも学園同窓会の一員として鳥取ことも学園を見守っていかれます。



両先生の「労をねぎらう会」

## 鳥取ことも学園同窓会のご案内

毎年、盆の八月十四日と正月の二月二日の夕方六時半に学園の地域交流ホールで、同窓会を行っています。なつかしい顔に会えますので、お気軽においでください。

## 本部会計決算書

(収入)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
補助金収入	20,368.000	20,366.070	△ 1,930
寄付金収入	6,777.000	6,776.800	△ 200
雑 収 入	1,871.000	1,933.333	62.333
合 計	29,016.000	29,076.203	60.203

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
事務費支出	1,655.000	1,628.378	△ 26,622
元利償還金	5,267.000	5,266.342	△ 658
繰入金支出	22,094.000	22,093.000	△ 1,000
合 計	29,016.000	28,987.720	△ 28,280

歳入歳出差引き残金 ¥88,483- は次年度へ繰り越す。

(注) 事務支出には退職給与金を含む。

## 行事

〔学園関係〕

- 12月6日 餅つき大会：鳥取いなばライオンスクラブ
- 16日 餅つき招待：N T T E 中国鳥取支店
- 20日 学園クリスマス祝会
- 23日 ラーメン昼食プレゼント：丸ハラーメン屋台・藤原
- 24日 クリスマスイブ・ホームパーティー
- 1月2日 新年OBすきやき大会
- 13日 学園創立記念日
- 2月4～8日 児童福祉展(大丸)
- 11日 鳥取ライオンスクラブ学園卓球大会：鳥取ライオンスクラブ
- 3月3日 学園ひなまつりの会
- 6～7日 高校生会スキー合宿(氷ノ山スキー場)
- 12日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 16日 希望館通所部門・茶道：校の下で野点会

《児童養護施設

「鳥取こども学園」》

平成十年度は、平成九年度からの継続入所児童三十五名に新規入所児童四名を加えた計三十九名（未満児二名、年少児六名を含む）でスタートした。

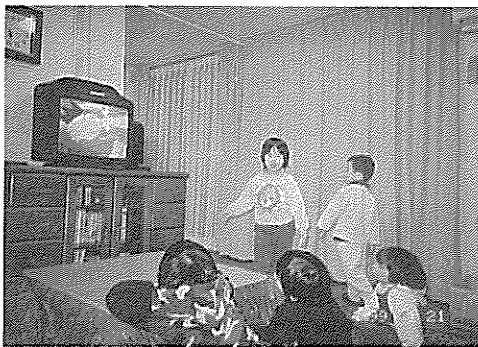
その後の入所児童の変動は、六月に年少児一名が入所、八月に中学生二名が入所、十月に未満児二名と年少児一名計三名の入所があり、この時点で定員四十五名一杯となった。入所児童の年齢別構成をみると未満児四名、年少児八名と幼児の総数が十二名になり、定員の四分の一を占めることとなった。全国的に幼児の入所が増加しており、当園もその傾向が強まっているのが顕著に表れた。

平成十年度の退所は、全て三月で、高卒児童五名（専門学校進学一名、就職四名）、未満児一名、年少児一名の計七名であった。その内高校生二名・未満児一名・年少児一名の四名が家庭復帰、残りの高校生二名は当園併設の鳥取フレンドへ入寮、一名は県外の会社寮に入寮した。平成十一年度は、平成十年度からの継続入所児童三十八名に新規入所児童二名を加えた四十名（未満児一、年少児九、

小学生十二、中学生九、高校生九）でスタートすることとなった。

家庭舎の改修工事が  
終わりました

昨年度、一千万円の事業費で、築後三十七年経った「家庭舎」の食堂部分の一部増築や屋根のふき替えをしました。鳥取県の補助金七百四十八万円もいただいています。広くなった食堂で、子どもたちものびのびと過ごし喜んでいきます。工事を請け負ってくださいました竹中工務店さん等、皆様のご支援に心より感謝申し上げます。



広くなった食堂でくつろぐ（ひまわりホーム）

児童養護施設 施設会計決算書

(収入)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
措置費収入	133,833,000	133,892,042	59,042
補助金収入	11,425,000	11,341,575	△ 83,425
寄付金収入	3,776,000	3,783,285	7,285
雑 収 入	3,445,000	3,580,564	135,564
引当金戻入	2,603,000	2,995,000	392,000
合 計	155,082,000	155,592,466	510,466

(支出)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
事務費支出	117,951,000	118,282,420	331,420
事業費支出	37,131,000	37,209,819	78,819
合 計	155,082,000	155,492,239	410,239

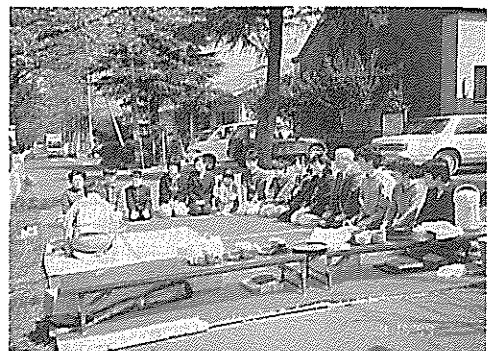
(単位 円)

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

歳入歳出差引き残金 ￥100,227- は次年度へ繰り越す。

〔みどり園関係〕

- 5月1日 児童福祉週間・こいのぼり掲揚式（こどもの国）
- 16日 学園こども祭り
- 20日 希望館通所部門・春の遠足（岩美町浦富）
- 12月19日 クリスマス祝会
- 1月27日 参観日（講演会）：講師 富桑小学校教頭 谷口雄太郎
- 2月5日 伝承あそび（祖父母と一緒に）
- 8日 修立小学校体験入学（年長児）
- 12日 交通安全教室（保護者会交通安全部主催）
- 14日 私立保育園保護者会ポリーング大会



桜の下で野点会（希望館）

### 《情短施設「希望館」》

平成十年四月初、二十七名の暫定定員でスタートした入所宿泊部門は、その後入所児の増加によって五月からは二十九名、その後、定員の三十名を満たした。したがって、今年度四月から暫定は解消された。しかし、通所部門については、今年度十四名の暫定でのスタートとなった。このように、長期生活型の児童養護施設と異なり、年間を通じて児童の出入りが頻繁な短期治療施設にとつて、現行の措置制度はその運営が不安定なものとなることを余儀なくされている。現在、全国情短施設協議会を通じて、厚生省に制度の改善を要望している。

ところで、昨年の児童福祉法の改正により、二十才までの入・通所が可能となり、入所宿泊部門の現員二十五名中十五名(六十%)、通所部門の現員十名中四名(四十%)が高校学年以上で占められるという事態となっている。利用者の年齢制限の大幅アップに伴って、情短施設に対する社会的な期待とニーズは益々強まっているので、高齢児への更なるハ一下面(施設設備など)、ソフト面(心理治療・生活処遇職員など)の改善・充実が急がれる。

### 《 外 来 相 談 風 景 》

一九九八年度の外来相談件数は、実施延べ件数一六九〇回(実人数二〇一人)となっております。相談内容で最も多いのが不登校で、全体相談件数の約八割を占めます。「学校に行けない」「行かない」理由や原因はさまざまで、来談者の数ほどあるというのが実感です。理由や原因が、どこにもないような事例に出会うことも少なくありません。

次に多い相談は、多動(落ち着きがなく、じつと座ってられない)などのケースで学校や保育所で集団不応を生じているものです。この場合は、学校や保育所からの相談や、そのすすめによる保護者の来談です。以前ならこのような特性のある子どもは、思春期になってはじめて「特定の能力の習得に著しい困難を示す」いわゆる学習障害(LD)と診断され、相談にみえることが多かったようです。今日、早期に治療機関にかかる機会や意識が高まってきたことは、好ましい傾向と思います。

また、最近目立つ相談として、高校生年齢(中卒者)の家庭のきこもりがあります。彼らの将来を見据えた進路の選択肢を多様に提示できない閉塞感を抱えながら、来談者に対応している日々です。

### 情短施設 施設会計決算書

(収入)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
措置費収入	141,587,000	142,378,837	791,837
補助金収入	2,657,000	2,681,340	24,340
寄付金収入	1,065,000	1,064,475	△ 525
雑 収 入	2,580,000	2,589,936	9,936
合 計	147,889,000	148,714,588	825,588

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
事務費支出	117,136,000	117,922,528	786,528
事業費支出	26,053,000	25,912,327	140,673
引当金繰入	4,700,000	4,870,000	170,000
合 計	147,889,000	148,704,855	815,855

歳入歳出差引き残金 ¥9,733-は次年度へ繰り越す。

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

5月30日  
みどり園バザー(保護者会主催)

園(保護者会総会)

22日 春の親子遠足(おおちだに公園)



16日 地域子育て支援センター「育児講座」 講師 鳥取みどり園々長 入江一枝

20~22日 作品展

3月3日 ひなまつり&もちつき大会 (祖父母と一緒に)

5日 シルエット観劇(市民会館)

11日 平成11年度入所児説明会

12日 お別れ会

27日 第48回卒園式(卒園児32名)

4月1日 進級式

3日 第49回入園式

6日 お花見会

《保育所「鳥取みどり園」》

平成九年度の卒園児が二千六百名と多かつたため、十年度は四月当初一四〇名と少なく心配したが、五月で定員いっぱいになりその後毎月三歳未満児の入所があり、年度末には一六〇名となる。また、九年度より開設の「子育て支援センター」もいろいろな活動をする中で、お母さん達の安らぎの場、情報交換の場となり、利用者も増え、喜んで頂いている。

その他エンゼルプランの特別事業を次の通り実施している。

一、低年齢児保育促進事業  
二、障害児保育

三、開所時間延長促進事業

四、老人福祉施設等世代間交流事業

二〇〇〇（平成十二）年には、創立五十周年の節目を迎える。今年度から「記念誌」編纂等の準備に取り組んでいきたい。

地域に開かれた保育園として、地域に愛され、信頼されるように、職員みんなで一人ひとりの子どもをもっともつと認め、愛していききたい。そして園生活の中で友だちを大切に「友だちっていいな」「保育園って楽しいな」と感じられるような仲間づくりをめざしていきたい。

また、今年も安全面には十分気をつけて、事故や怪我のないよう努めていきたい。

保育所 施設会計決算書

(収入)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
運営費収入	123,510,290	123,324,950	△ 185,340
補助金収入	27,527,228	27,577,193	49,965
寄付金収入	293,704	286,704	△ 7,000
利用料収入	490,000	491,150	1,150
雑 収 入	1,520,028	1,530,957	10,929
合 計	153,341,250	153,210,954	△ 130,296

(支出)

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
事務費支出	127,680,783	127,795,497	114,714
事業費支出	18,185,063	18,269,962	84,899
引当金繰入	7,475,404	7,145,495	329,909
合 計	153,341,250	153,210,954	△ 130,296

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

《自立援助ホーム「鳥取フレンド」》

平成十年度は、四月当初五名の入所があり、十一名でスタートした。

その後、四月に一名、五月に一名、六月に二名、七月に二名、十月に二名、十一月に一名、三月に二名、計十六名の入所があり、退所は、五月に二名、六月に一名、七月に二名、九月に一名、十月に二名、十一月に三名、二月に二名、三月に一名、計十四名であった。

今年度の入所者十六名の内訳は、当園出身者は六名、県内養護施設出身者一名、自立支援施設出身者二名、一般家庭から五名であり、その内保護観察所から三名、鳥取家裁から三名、松江家裁から一名の委託児童が含まれている。

平成十一年度は、継続入所児童八名に新規入所児童二名を加えて、十名でスタートすることとなった。



自立援助ホーム鳥取フレンド 施設会計収支決算書

(収入)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
補助金収入	3,630,000	3,639,000	9,000
寄付金収入	516,000	516,024	24
利用料負担金収入	1,129,000	1,128,592	△ 408
雑 収 入	3,498,000	3,580,301	82,301
繰越し金収入	1,400,000	1,400,000	0
前年度繰越し	12,000	120,000	0
合 計	10,293,000	10,384,329	91,329

(支出)

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
事務費支出	5,612,000	5,464,607	△ 147,393
事業費支出	3,381,000	3,296,746	△ 84,254
引当金繰入	1,300,000	1,450,000	150,000
合 計	10,293,000	10,211,353	△ 81,647

歳入歳出差引残金 ¥172,976-は次年度へ繰り越す。

(注) 雑収入には家裁、保護観察所からの保護委託費を含む。





物品寄付者 (1998.12.1 ~ 1999.5.31)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
赤山善男	国際ソロプチミスト鳥取	谷 繁 初 江	福 永 裕 子
秋崎るり	小坂登	大協タワモト会 会長 滝川久恵	藤 前 田 義 弘
井崎吉	小谷雅代	大 樹 寺	松 山 は る 糸
石黒浩	坂本たき	中国花王販売株式会社	森 山 下 葉 留 美
乾博登	山陰中央新報社	鳥取協同青果株式会社	山 下 葉 留 美
上田孝	下場ルミ	鳥取教会シオン会	や ま な か 靴 一
大坪治	修立小学校バザール	鳥取県中小企業団体中央会	横 山 純 勇
小川憲	新日本海新聞社	鳥 取 大 丸	吉 田 純 勇
片岡食品	鈴木直樹	豊 福 孝 明	糸 び す や
株式会社	千石真知子	長 戸 規 子	J A 鳥 取 い な ば
株式会社	高槻成紀	中 村 千 賀 子	N T T - T E 中 国
株式会社	夕カラブネ	日 本 鏡 餅 組 合	
株式会社	竹中工務店	日本赤十字社鳥取県支部	
河合雅子	立川郵便局	林 敬 二 郎	
北村秀徳	谷 繁 ぎ ぬ え	福 田 豊	
黒川和子			

鳥取こども学園後援会 平成10年度収支決算書

(収入) 自H10.4.1 至H11.3.31

(単位:円)

科 目	金 額			摘 要
	当 年 度	前 年 度	増 減 (△)	
後 援 会 費	4,873,955	5,120,118	△ 246,163	397件
雑 収 入	4,078	5,659	△ 1,581	預金利息
前 期 繰 越 金	5,837,352	3,361,290	2,476,062	9年度繰越
合 計	10,715,385	8,487,067	2,228,318	

(支出)

(単位:円)

本部会計繰入	5,097,000	2,455,000	2,642,000	自立援助ホーム、地域交流ホーム運営 費助成、設備資金長期借入金返済助成
役 務 費	17,660	73,965	△ 56,305	
施設会計繰入	2,024,810	0	2,024,810	児童棟冷暖房設備費
雑 費	0	120,750	△ 120,750	
合 計	7,139,470	2,649,715	4,489,755	

歳入歳出差引残金 ¥3,575,915 - は次年度へ繰越す。

「鳥取こども学園後援会」加入と会費納入のお願い

鳥取こども学園の事業は、言うまでもなく「民間社会事業」です。「制度」は何もないところから出発した創立当初の困難を想い、民間社会事業の先駆性・献身性を受け継ぎたいと思います。公的な制度と資金だけでは到底足りません。

「鳥取こども学園後援会」加入と会費納入をお願いします。

1. 「鳥取こども学園後援会」へご入会下さい。
2. 地域、職域でできるだけ友人・知人に呼びかけて下さい。
3. 個人でも団体でも、会社や法人でも加入出来ます。
4. 年会費は、個人1口3,000円、団体・法人1口10,000円で、1口以上何口でも結構です。

会費・寄付金は下記へ

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内

☎(0857) 22-4206-21-9551 FAX23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎良一

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取東支店 普通 2124157

鳥取銀行本店 普通 7645611